

2015年4月1日

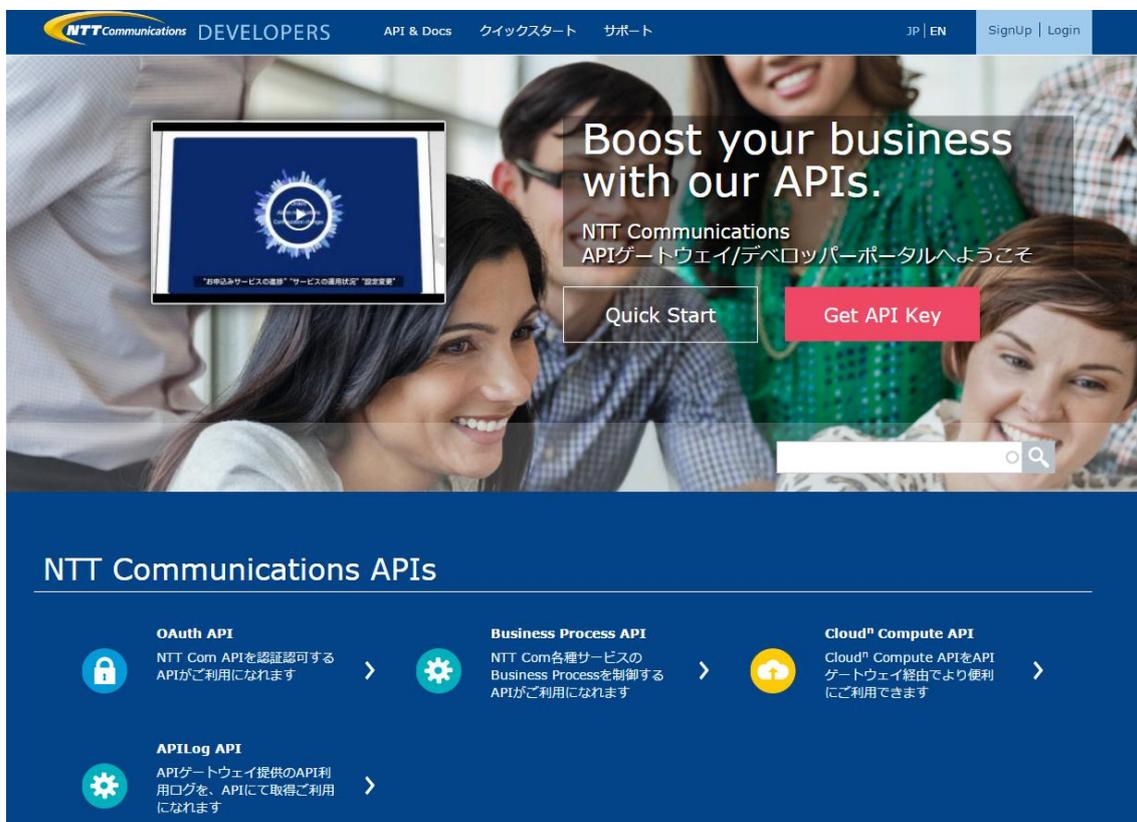
「NTT コミュニケーションズ API ゲートウェイ」を効率的に活用できる 開発者向けポータル Web サイトの提供開始について

<https://developer.ntt.com/>

NTT コミュニケーションズ(略称 : NTT Com)は、NTT Com が提供するサービス^{*1}のお申し込みから運用保守に至るまでのビジネスプロセス^{*2}に関する情報の閲覧・操作やサービスの設定変更などを、企業のお客さまが利用する各種システムからダイレクトにコントロール可能とする「NTT コミュニケーションズ API^{*3} ゲートウェイ」を提供しています。NTT Com はこのたび、本機能のより簡易な利用を可能とする、各 API の仕様や稼働状況、サンプルコードをまとめて参照できる「NTT コミュニケーションズ API ゲートウェイ 開発者ポータル」を、2015年4月1日より提供開始します。

これにより、利用企業のシステム開発者は、自社システムと NTT Com サービスとの API 連携に関して効率的に情報を収集し、より簡易に各種サービスの API 利用が可能となります。

< 「NTT コミュニケーションズ API ゲートウェイ 開発者ポータル」画面イメージ >



1. 「NTT コミュニケーションズ API ゲートウェイ 開発者ポータル」の主なコンテンツ

①API の仕様

企業向け VPN サービス「Arcstar Universal One」やパブリッククラウドサービス「Biz ホスティング Cloud[®]」など各種サービスの API の紹介、リクエストとレスポンスの情報項目と具体的なインタフェースフォーマットが参照できます。

②API Key

「NTT コミュニケーションズ API ゲートウェイ」の契約者向けに、各 API を利用するために必要な API Key を提供します。

③API ステータス

「NTT コミュニケーションズ API ゲートウェイ」が提供する各 API の稼働状況が簡単に把握できます。

④サンプルコード

API を利用するためのサンプルコードを提供します。Python や ruby などの各種プログラム言語に対応していきます。

2. 今後の展開

API コンソール^{*4}や SDK^{*5}などの API 利用ツールの整備、また、利用企業の自社システムと連携させた API 利用に関するベストプラクティスやお客さまビジネスにおけるユースケースの紹介など、今後も「NTT コミュニケーションズ API ゲートウェイ 開発者ポータル」のコンテンツを拡充していきます。

また、「NTT コミュニケーションズ API ゲートウェイ」サービス自体も、「NTT コミュニケーションズ ビジネスポータル」からのオンライン申し込みを可能にするなど、引き続き、利便性の向上を推進します。

- *1 対象サービスは、ネットワークサービス（Arcstar Universal One/Arcstar Universal One Virtual/Arcstar Universal One モバイルグローバル M2M）、クラウドサービス（Biz ホスティング Enterprise Cloud/Biz ホスティング CloudTM）、コロケーションサービス（Nexcenter）、アプリケーションサービス（Arcstar UCaaS/Arcstar SIP Trunking/Biz メール）です。API を提供するサービス、および各サービスの機能は順次拡充していく予定です。詳細はお問い合わせください。
- *2 API を提供するサービス、および各サービスの機能は順次拡充していく予定です。詳細はお問い合わせください。
- *3 Application Programming Interface の略。システム間接続を容易に可能とするインタフェース。外部のアプリケーションやサービスから、機能やデータベースを呼び出して利用できるようになります。
- *4 「NTT コミュニケーションズ API ゲートウェイ 開発者ポータル」上で、API の入出力をオンラインで確認できる Web コンソールです。
- *5 Software Development Kit の略。特定のソフトウェアパッケージ、オペレーティングシステムなどのためのアプリケーションを作成するためにソフトウェア技術者が使用する開発ツールのセットです。今後、具体的には、「NTT コミュニケーションズ API ゲートウェイ」で、OSS（Open Source Software）提供されている、各種言語の REST client ライブラリを事前検証し、「NTT コミュニケーションズ API ゲートウェイ 開発者ポータル」にて公開予定です。